

# 三中だより

三崎中学校校歌

珠洲の海原 そよ風渡り いま朝日子の 光のうちに  
玉も白たま より来る岸边 望みあふれて いそしみはげむ  
我等が 三崎中学校

校訓 自治 親和 責任

学校教育目標

自立して学び  
人と協働して  
貢献できる生徒の育成



令和4年11月25日 第8号 珠洲市立三崎中学校

珠洲市立三崎中学校

検索

## 先輩からのメッセージ

校長 濱野 裕之

11月21日(月) 第12回珠洲市中学生英語スピーチコンテストが三崎中学校で行われました。例年、このスピーチコンテストでは、記念スピーチとして、前年度3年生の部で最優秀賞を受賞した高校1年生のスピーチも行われます。

今年度は、本校の卒業生である道端薫子さんが記念スピーチを行いました。題名は「The important thing in group activities」(グループ活動で大切なこと)です。

スピーチは、聞き手への問いかけからはじまりました。「みなさんは、グループ活動で大切なのは、何だと思いますか？」隣同士で話し合っしてほしいと伝え、自らは演台から離れ、中学生の中に入っていました。

英語でスピーチするだけでも難しいにもかかわらず、聞き手とのコミュニケーションを図りながらスピーチをするのは、本当に大変なことです。しかし、そこに挑戦しようとする姿勢と、中学生に是非とも伝えたいという思いの強さを感じました。

道端さんは、中学生にもう一つの質問をしました。「あなたは、グループ活動では、リーダーと他のメンバーのどちらが重要だと思いますか？」考えは分かれましたが、多くの生徒は「他のメンバー」に手をあげていました。

この後、道端さんはリーダーより他のメンバーの方がグループ活動では、とても大切であると述べ、自分の三崎中学校での経験を語り始めました。自分が生徒会長であったとき、生徒会のメンバーや他のクラスメートが積極的に自分を助けてくれたり、アドバイスをしてくれたりしたこと。また、その逆にグループ活動のリーダーでプレゼンテーションを作ったときには、メンバーのモチベーションと自分のモチベーションをうまく保つことができず、プレゼンテーションを良いものにすることができなかったこと。そして、最後に、グループ活動では周りの人のサポートが大切なこと、そして、行事や生徒会でのグループ活動でぜひ、みんなで協力して、大切な思い出をつくってほしいことを語ってスピーチを終えました。

会場の拍手を聞きながら、私は三中生の絆を感じていました。この記念スピーチは、スピーチという形をかりた、三崎中学校の先輩から後輩に向けたメッセージ、エールであったのだと思います。

卒業しても尚、三崎中学校の後輩のことを考え、メッセージを送ろうとする姿勢と絆。それは、私がたくさん大切な思い出をつくることのできたのは、周りで私を支えてくれる大切な仲間がいたからだという気付きと学びをぜひ、後輩に伝えたいという強い思いがあったのだと思います。

『会場の三中生にこのメッセージは届いたでしょうか?』

今、三崎中の生徒会では、文化祭を終え、挨拶運動をはじめています。そして、生活目標として「反応して発言しやすい雰囲気をつくろう」を設定して、授業や集会での対話を活性化しようとしています。



みさき保育所の園児とともに、地震と津波を想定しての避難訓練を行いました。非常階段を3年生が園児の手を引いて上がり、全員が無事に避難することができました。自分の命を守ることはもちろんですが、災害時には地域の方々と助け合うことが大切です。今回の避難訓練で共助について学ぶことができました。



避難訓練の後に、学校防災アドバイザーの青木賢人先生より避難についてのお話を聞きました。津波が来るような地震はとても大きな揺れであることや、津波が来る前に高いところに避難しないと、たとえ30cmの津波でも流されてしまうことなどを学びました。防災に対する意識が高まるお話でした。

学べたことは、2つあります。1つ目は、マグニチュード8以上の地震で大きな津波があるということです。ハザードマップでは危険な場所があったので、びっくりしました。2つ目は、家具を固定しないと倒れてきて凶器になるということです。  
1年 前 颯人

避難訓練で、2年生は音楽室にいたけれど、昼休みで先生はいないし、放送もならなくて、どうすれば良いかわからず、そのままじっと机の下に隠れていました。でも、本当に地震や津波が起きたら、何の指示もない状態で行動しないといけないと思います。今日の訓練を通して、自分で判断して行動できるようにしたいと思いました。  
2年 知家 日菜乃

幼児と手をつなぐ場面では、3年生が優しく手をつなぎ、避難している途中も「ゆっくりでいいよ」「足元に気をつけてね」など、幼児が不安にならないような声掛けがあり、とてもいいなと思いました。また、講演会では「地震と津波はセット」ということを教わりました。災害から身を守るために、知識をつけたいと思いました。  
3年 刀祢 優里花

避難訓練では、いつも自分たちのことだけを考えていればよかったけれど、今回は保育所の子供たちのことも考えて避難しなければならなかったのが、いつもより緊張しました。今回の防災訓練ではこれまで意識してこなかった共助を意識することができました。  
3年 高野 大和

講演会では地震のシミュレーションの映像を視聴し、もし自分が巻き込まれてしまった時に慌てて、何もできなかつたら周りの人も危ない目に合わせてしまうことがわかりました。いざという時のために知識をつけておきたいです。  
3年 竹上 明里

## 12月行事予定

6日(火)	2学期期末テスト(全学年美術) 県評価問題(国・数・英)2年生
7日(水)	2学期期末テスト(全学年)
8日(木)	2学期期末テスト(全学年)
9日(金)	2学期期末テスト(全学年)
19日(月)	スプリングコンテスト
22日(木)	通知表渡し(3年生は三者面談)
23日(金)	スプリングコンテスト 終業式
25日(日)	冬季休業(~令和5年1月7日)

### 作品コンクール 受賞 おめでとう!

- ★海を守ろう!絵画コンクール  
最優秀賞 3年 井田 圭香
- ★税の作品 書道の部  
石川県知事賞 3年 青坂 莉奈
- ★防火書道コンクール  
優秀賞 3年 青坂 莉奈
- ★珠洲市スピーチコンテスト 3年生の部  
最優秀賞 3年 谷内 未華子



### ご芳志ありがとうございます

井田さん(栗津)より『ブロッコリー』  
新谷さん(小泊)より『梅干し』  
給食でおいしくいただきました。

# 第51回海鳴祭を終えて

11月6日(日)

スローガン:『跳んで はじけて 燃え上がれ!~三中魂みしたろや~』(3年谷内 未華子)

海鳴祭に向けて、上記スローガンを実現するために、10月中旬から生徒会が中心となり、主体的に練習や準備に取り組んできました。当日は、その成果を十分に発揮することができました。また、準備では、思うようにできないときには、話し合って意見を出し合う姿や下級生を思いやる上級生の姿勢などが随所で見られ、生徒全員の絆を深めることができました。



## 1年生 「海洋ゴミと三崎町の海の生き物について」

実際に海岸清掃をし、ゴミの分別を行いました。海洋ゴミの種類と量についてまとめ、さらに深めるために里山里海自然学校へ行き地引網の体験をしてきました。調査したことと体験したことを踏まえて「海の豊かさ」をテーマに発表しました。



最初はいろいろと不安がたくさんあったけど、全力で楽しむことができました。心に残っていることは「書道パフォーマンス」と「合唱」です。合唱では、アドバイスをし合ったり、パートごとで課題を見つけ、話し合って練習をすることでいい合唱にすることができたからです。 1年 瀬戸 愛生

私は壁画委員会でした。最初は、できるか不安だったけど、私が書いた下絵をみんなが「うまい!」と言ってくれて、その下絵がどんどん大きくなって出来上がった時は、とてもうれしくて、達成感がありました。飾られたときは感動で声が出なかったです。1年 島田 彩羽

## 2年生 「三崎を残すためにできること」

「働くとは?」という課題を、保護者へのインタビューや地域の方の講話、わくワーク体験を通して解決していき、自分たちの考えの変容を発表しました。また、自分たちが「もし三崎の農家さんだったら。」ということ想定して、農業を通して三崎町をもりあげるための3つの提案を考えて発表しました。



合唱では、いつも上手く歌えなかったところも上手く歌えたとし、他のパートの声を聞きながら歌えたのでよかったです。総合の発表ではかまわずに言うことができたけど、あまり前を見ることができなかったのが、気をつけたいです。 2年 川上 華凜

文化祭を振り返って、スローガンを実現できたと思いました。来年は、私たちが最上級生となって主体的に文化祭を作り上げていくことになるので、今年以上に頑張りたいです。

2年 前 結音

文化祭で一番印象に残ったことは、合唱です。理由は練習での課題をみんなで話し合い工夫して自信をもって歌うことができたからです。特に団合唱の最後のサビのところを全員で盛り上げることを意識して歌うことができました。 2年 高木 千穂

## 3年生 「三崎を残すためにできること」

珠洲市を今まで以上に盛り上げ、活性化させるための方策について考えてきました。親子議会への提言や修学旅行での学びを踏まえて、自分たちが今できることを考えて提案しました。



総合の発表は、自分たちが体験したことや考えたことをたくさん言うことができたなと感じました。今までの発表の中で一番中身が濃かったなと思いました。  
3年 谷内 未華子

心に残っているのは、合唱です。なぜなら、団合唱では団ごとに個性があって、どのパートも声が出ていていいと思いました。特に全校合唱では聴いている人が感動するような歌声で歌うことができたからです。  
3年 干場 蓮司

私が特に印象に残っているのは、3年生の総合発表です。練習では詰まったところも本番は詰まらずに言うことができたので良かったです。また、合唱ではみんな自分のベストを尽くしており、とても良い仕上がりになりましたと思います。保護者の方々に頑張りが伝わるような合唱になってうれしかったです。  
3年 濱野 夏妃

自分からいろいろ挑戦することができた海鳴祭でした。ステージ企画では、委員会の皆が盛り上げてくれたり、アドバイスをくれたりして、とてもありがたかったです。  
3年 井田 圭香

## 保護者の皆様や地域の方々からの激励

熱い三中魂が私たちのハートをブチ抜き、感動・感謝の連続でした。何事にも前向きにとらえ、頑張ってください。今日一日、すごく輝いていました。  
地域の方

合唱は、少人数、マスクで声を届けにくい中よく頑張りました。全体にハーモニーがきれいでした。全校合唱は、100点です。学習発表は、特に3年生が、写真を多く使いわかりやすかったです。また、わかったことで終わらず、提案しているところが良いです。  
地域の方

みんなで協力して、取り組まれていたのをひしひしと感じます。午前・午後と一日参観したのは初めてでした。未来のある三崎中学生。地域のこと考えられており、これからも頑張っしてほしいと思います。今日の発表は魂がこもっていましたよ。  
保護者

オープニングから生徒の皆さんの「楽しむぞ」という気持ち伝わってきました。すごいですね。少ない人数で何役もこなす大変さはあると思いますが、生き生きと動いている姿がよてもよかったです。合唱もすてきでした。総合の発表もすばらしいものでした。キラキラしている姿がとても印象のこりました。  
保護者

本当に「一人一人が輝く文化祭」でした。工夫した発表やパフォーマンスばかりで見ごたえがありました。文化祭を楽しんで行っている中学生の姿は感動的でした。  
地域の方

総合的な学習の発表は1年～3年までよく勉強し、上手に発表できていました。今後はさらに深く研鑽して発表できるようになればなお良いと思います。特技発表は、どれも感動できるもので気持ちが入っており良かったです。  
保護者

